

# 令和元年度「亘理町地球温暖化対策実行計画」取組結果

亘理町は事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、「亘理町地球温暖化対策実行計画」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでいます。

令和元年度における取組の結果は以下のとおりです。

## 1. 亘理町地球温暖化対策実行計画の概要

平成20年度二酸化炭素排出量を基準値とし、6パーセントを削減目標としています。

対象	基準値	削減目標	目標値
二酸化炭素	4,026,003 (kg-CO2)	-6%	3,784,442 (kg-CO2)

## 2. 計画目標の達成状況

二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	基準値	令和元年度実績	削減量	削減率
	4,026,003	2,293,909	▲ 1,732,094	▲ 43.02%

温室効果ガス排出量は基準値と比較し43.02%減となり、目標を達成いたしました。

しかし、東日本大震災以前の基準値との比較であることから、被災し減少した施設等も含まれた基準値との比較となっています。

## 3. 前年度との燃料別二酸化炭素排出量比較

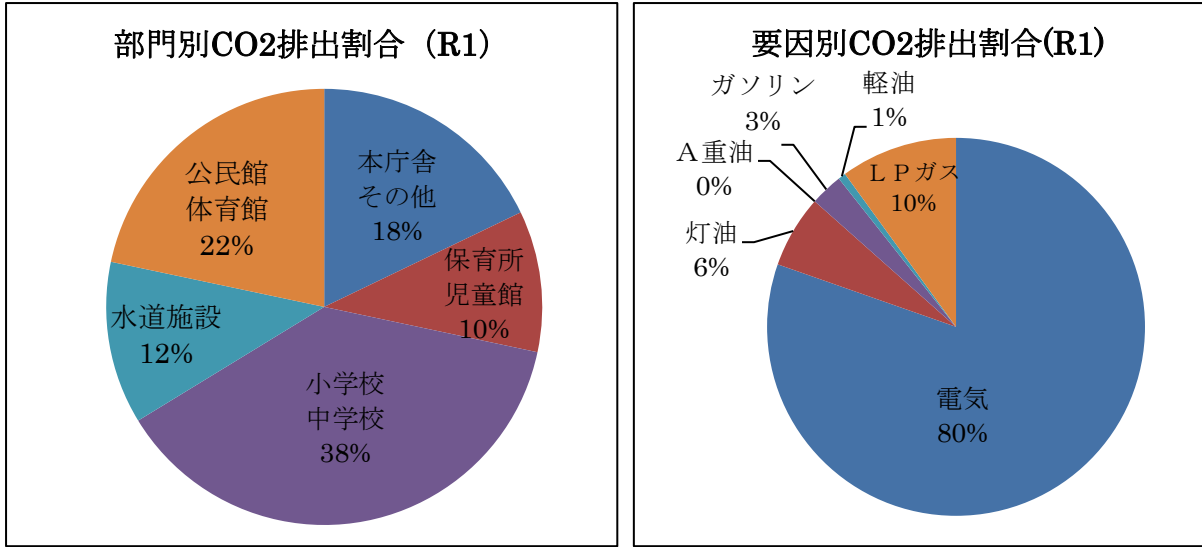
排出要因	二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			増減率
	平成30年度	令和元年度	増減	
電気	1,742,427	1,843,495	101,068	5.80%
灯油	191,448	142,076	▲ 49,372	▲ 25.79%
A重油	97,831	0	▲ 97,831	▲ 100.00%
ガソリン	66,382	64,060	▲ 2,322	▲ 3.50%
軽油	23,191	14,845	▲ 8,346	▲ 35.99%
LPガス	237,897	229,433	▲ 8,464	▲ 3.56%
合計	2,359,176	2,293,909	▲ 65,267	▲ 2.77%

二酸化炭素排出量の削減率が平成20年度二酸化炭素排出量の基準値と比べ43.02%減となっています。また、前年度との比較では二酸化炭素排出量は2.77%減となっています。

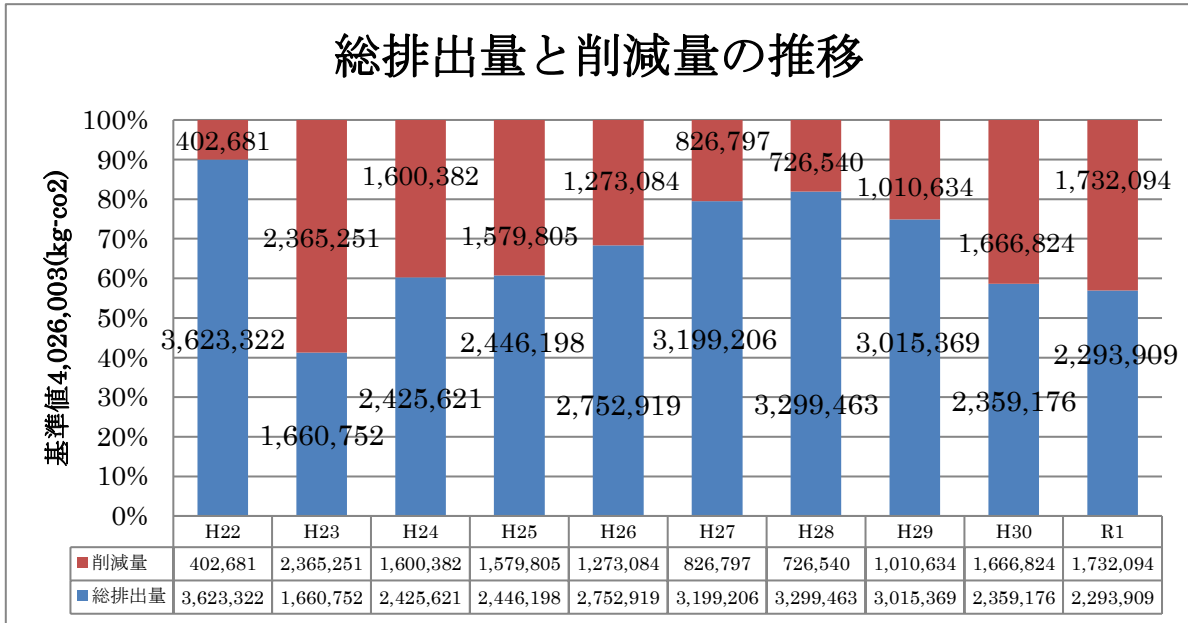
要因の一つとして、図書館では令和2年度から暖房機器をA重油式暖房機からエアコンに変更、また各小中学校では平成30年度からエアコンを順次設置したため、灯油使用量が減少したことが挙げられる。

排出要因別では、電気(80%)とLPガス(10%)の2項目で全体の約90%となっており、令和2年1月から新庁舎での業務が開始され、各施設の職員一人ひとりが節電・省エネルギーなど環境に配慮した取組みを意識することがさらに必要と考えられます。

【部門別・要因別CO2排出割合】



【基準値を100%とした場合の二酸化炭素総排出量と削減量の推移】



【基準値に対する各年度の削減率の推移】

